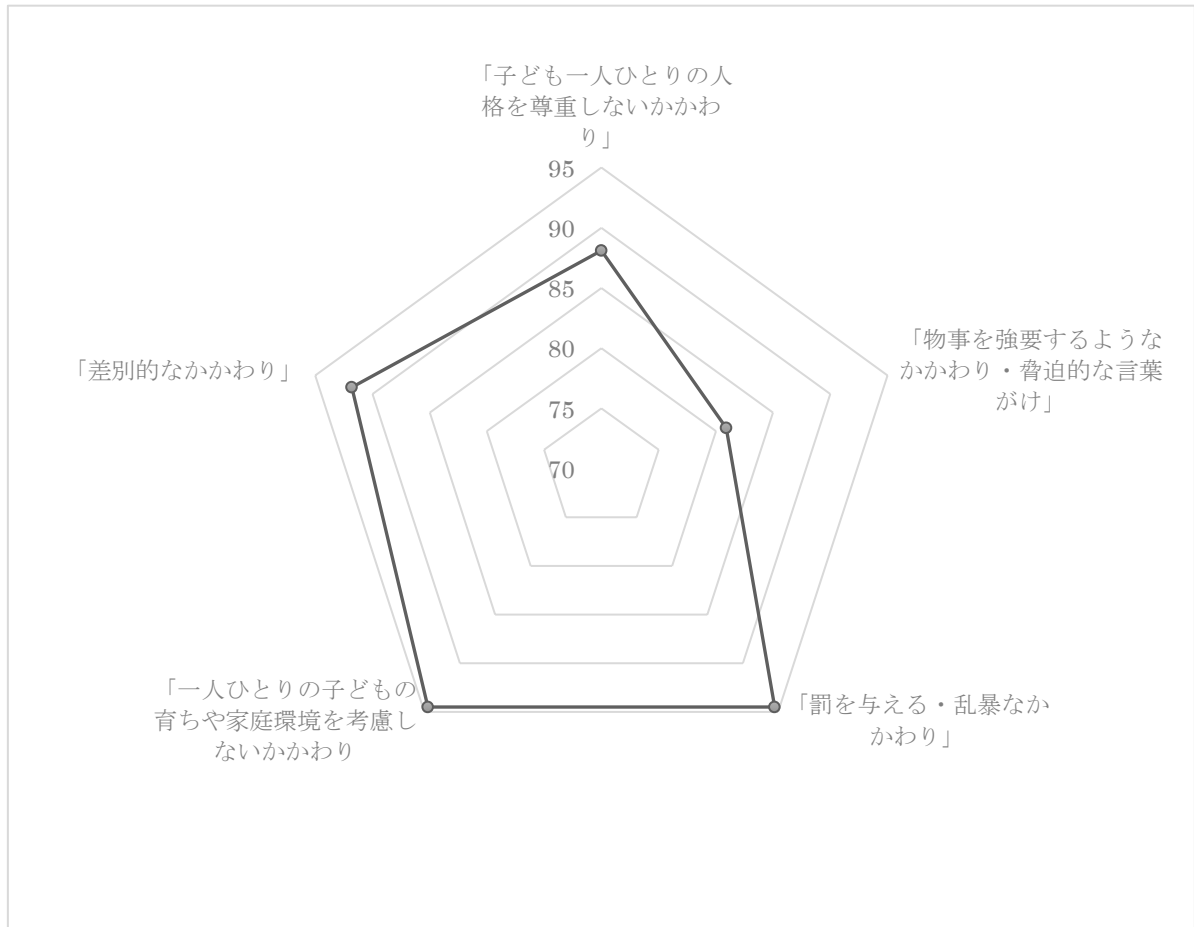


令和6年度 垂見保育園自己評価

～「子どもを尊重する保育」のために～

【レーダチャート】

* 輪の大きさが大きいほど、「良いかかわり」が達成できています (%)



【園長所見】

「物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉がけ」の事項が昨年よりも評価が悪くなっているように見えますが、これはこの事項に対する保育士一人ひとりの意識が高くなっている結果だと考えます。近年、不適切保育が問題になることが多く、知らず知らずのうちにそうならないように、子ども達一人ひとりにしっかりと向き合い、良いかかわりや声かけを意識した保育を実践して欲しいと思います。

園長 大橋真一